

# 第3期 2回目授業

～1時限 進学コンサルタント 沖山 賢吾先生～

進学コンサルタントとは

学校選び・塾選びの相談・指導、進学情報収集・研究・提供、勉強会・講演・セミナーの企画・実施、商品開発・営業販売支援、監修・執筆・寄稿・出演 などを行う。まさに教育プラットフォーム。



他人と過去は変えられない。自分と未来は変えられる。他の人の人生を生きてはいけない。

→超利己的に生きれば、超利他的な存在になれる。

◇強烈な3K（興味・関心・好奇心）を持ち続けること、3Kに従って生きる。

圧倒的な行動量で、豊かな3K（感情・感性・感覚）になる。

◇中学受験から将来を考え、予測する！社会を知る！学ぶ！塾や勉強、成績なんてそのあと！！

→学校選びも変わってくる。

社会を知ることが大事。これからは、「個の時代！」

クラウドワークスという会社から世の中が見える。

ヒトモノカネを所有しない。必要な時に必要な分だけ。大企業<個人教育現場はこれから変わる。受験方法も変わる。（社会の変化が学校の変化につながっている）  
学校探しの肝：ヒトを見る（校長先生）、アナログに探す。 →個の時代

～2時限 登山家 高田 直樹先生～ 私のむかし噺



なぜ山に登るようになったのか。

→幼児体験 山の中で育った。

中学・高校時代：通学時、電車の窓から見える山に登る。

金剛山、雪中登山。るり溪の山中で一週間のキャンプ生活。

北アルプス・燕岳-槍ヶ丘縦走。

大学山岳部『なんで山登るねん』の世界へ。

海外登山 1965年 カラコルム・ディラン峰に遠征。京都府山岳連盟隊最年少隊員。（ディラン峰雑記）

1969年 パキスタン・スワットヒマラヤ、マナリ・アン初踏査。（西パキスタンの旅）

1971年 ソ連邦招待、コーカサス連峰 総評

1975年、1979年 カラコルム・ラトック2峰、ラトック1峰

1981年 中国 コンクール峰

海外登山を経験して、自国の日本を知らないことに気づく。（歴史、言語、文化）国旗日の丸を認識。

帰宅後は着物着用、日本の近現代史を学ぶようになった。→日本の常識は非常識かもしれないと知る。

山登りで学んだこと ◇忍耐力・鈍感力・ストレス回避、順応・適応力 ◇孤独にならず個独を楽しむ

◇人は簡単に死ぬ

◇山登りで落ちそうになったとき→鳥瞰的視点・観点

遊びをせんとや生れけむ、戯れせんとや生れけん